



魅力ある農業にするため



菅野 将大さん
(与能)

祖父の代から続くイチゴ農家の3代目です。物心ついた頃から祖父や父がイチゴ栽培をしている姿を見て育ちました。イチゴ栽培のやりがいは、自分の手で一から農作物を育てられることです。イチゴが収穫になるまでには長い時間がかかります。夏の苗作りから始まり、5月まで収穫します。毎年、天候やイチゴの状況が変わっていく中で、赤くおいしいイチゴが収穫できた時は大きな喜び、そして、誇りを感じます。

近年イチゴ農家が減少する中、AIやIPM技術*の普及と共に若手の後継者や新規就農者を増やしたいです。そのためには、気軽に相談できる場所や仲間づくりの場を提供してほしいです。最後に、未来のある農業にするため、後継者の育成により一層のご協力とご支援をお願いします。

*農業を頼らず天敵・防虫ネットを用いて病害虫や雑草を防除すること

みんなで乗っぺよ、LRT



小林 史貴さん
(下高根沢)

子どもの成長は早いもので、最近進学について悩むようになりました。現在、建設中のLRT開業により、今までより視野を広げた学校選びが可能となったためです。今後、トランジットセンターまでの交通手段として、路線バス・デマンド交通の充実により、芳賀町に住む全員が利用しやすい交通手段とし、LRTは生活の一部になることでしょう。

新型コロナウイルス感染拡大による工事、資材調達の遅れなどの影響により、開業が一年延期となりましたが、移動範囲拡大による子どもたちの希望に満ちた未来のため、高齢者の健康増進のため、これ以上の延期がなく開業となるよう心から願います。

「みんなで乗っぺよ、LRT」

今よりももっと全員が住みやすいまちづくりのために。

介護保険と少子化



戸祭 利美さん
(東高橋)

私は、最近介護保険証をもらいました。

「まいったなー。」こんな年になるなんて。若い頃は想像もできませんでした。介護保険や国民年金制度を利用することになり、次世代の人々に負担をかける事に申し訳ない気持ちがします。

少子高齢化が進み、3人に1人が65歳以上と言われている現在、介護を受ける人は年々増えていくと思います。自分が介護を受ける側にならないよう健康づくりに励み、病気にならないような生活を心掛けたいと思っています。少子化や孤独死等気がかりな事はたくさんあります。これから、この町を守っていく若者が、安心して働き、結婚し、出産、子育てができる魅力ある町。人と人がつながりを感じられる町。安心して生活ができる町を願っています。